



# おごせ

あなたと議会をむすぶ  
議会だより



平成25年4月10日 みどり幼稚園入園式

## 主な内容

議案の審議 .....	2P
賛否表 .....	8P
一般質問 9名が登壇 .....	10P

## 第145号

平成25年6月1日

発行・越生町議会  
編集・広報編集委員会

☎ 049-292-3121 内線204

〒350-0494

埼玉県入間郡越生町大字越生900番地2

議会だよりは再生紙を使用しています。

# 3月 定例会

平成25年第1回定例会は、3月7日から25日の会期で開催されました。町長から提出された議案は、平成25年度予算7件、平成24年度補正予算3件、条例の制定8件、条例の改正9件、規約の変更他3件、人事の同意2件でした。慎重審議の結果、条例の制定1件を否決し、ほかは可決・同意しました。

一般質問では、9名の議員が登壇、町政に関する質問を行いました。

## 敬老祝金支給の廃止を否決

### 反対討論

木村 正美

「越生町敬老祝金等支給条例を廃止」する条例案が提出されました。

条例廃止案に議論が白熱しました。採決の結果、賛成5、反対5の可否同数でした。

「可否同数の場合は、議長の決するところによる」との地方自治法の規定にもとづき、議長は否決と裁定しました。

可否同数 否決

### 賛成討論

バブル思想からの脱却を  
水沢 努

新井町長就任後、最初の議会で唐突に上程された本案に驚きを隠せません。新井町長に期待して一票を投じた高齢者の方も寝耳に水と驚かれると思います。今年の敬老会ですその歳を迎える方々のがっかりした顔を見るに忍びません。町長の行財政改革に真摯に取り組もうとする姿勢は評価しますが、廃止の理由を粘り強く説明をし、可能な限りソフトランディングにすべきです。いきなりで無謀な祝金廃止案には反対します。

この制度はバブル時代に制定されたもので、財政危機が進む中で団塊世代がいつきに高齢者に突入する今日、制度的に時代遅れのものになっている。そのため近隣市町ではすでに廃止された所が多い。わが町もそれに従うべきだ。今求められているのは高齢者における「与える」喜び、地域に貢献する生きがいの創造だ。そうしたことが育まれる制度の設計がこれからの時代には問われている。

### 反対討論

外部評価は祝金必要なし  
理解できない

宮島サイ子

長生きを祝福されて祝金をいただけるのは、生きる張り合いがあつて大変良いと思います。将来、祝金出費がどんどんかさんでいく懸念を町が持っているのは理解できます。しかし、今、いきなりの廃止には反対です。

考えてほしいのは、むしろ敬老会のあり方です。9月といえどまだ暑さの厳しい中を一同に会するのは少々無理があります。また、協賛品を募るのも新たな町民への負担を強いるものと考えます。

### 反対討論

高齢者に対する  
福祉の後退だ

木村 好美

敬老祝金等、支給を廃止するということは、高齢者に対する福祉の後退であり、今後さらに「高齢者は我慢しろ」と高齢者福祉の後退が懸念される。「敬老会の充実」や「地域の中で健康で長生きをするための施策」を強化するといえ、全くビジョンが見えてこない。子育て支援に力を入れようとする町長の姿勢は高く評価されるが、それと引き換えに、高齢者福祉をカットすることは、まさしく、福祉の後退であるため反対する。

# 副町長を置かないことを可決

## 反対討論

見通し不明の

現状での制定

木村 正美

市町村には副市町村長を置くことを原則とします。ただし、これを置かないこととするには、その旨の条例が必要であるため（地方自治法第161条第1項）、「越生町に副町長を置かないことを定める条例」が提出されました。これに対し、以下のような「賛成」「反対」の討論がされました。

なお、副町長を置かないこととする以上「越生町副町長の定数を定める条例」も廃止する必要があるため、同時に廃止されました。

賛成多数 可決

職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の改正

骨髄移植のための特別休暇について人事院規則が改正されたことにより本条例を整備する。

賛成全員 可決

## 賛成討論

小さな町に

ふさわしい改革

水沢 努

自分の間という曖昧な表現でなく、本当に副町長は置かなくて大丈夫なことを見極めたうえで議会に諮っていたいただきたい。町長の都合で副町長を置いたり置かなかったりと条例が議会ですらにでもなるということになれば、町民から議会は何を考えているのかと不信に思われます。町長追従の猫の目議会では、議会の威厳もなくなり、議員としての威信にもかかわります。よって、見通し不明の現状での制定には反対します。

今、町は財政危機の中で経費削減が問われ、地方分権の急速な進展に伴い自力で生き残る力が求められている。副町長の廃止は大きな経費削減だ。また県との太いパイプがあり、役場職員との長年培ってきた信頼関係を持つ新井町長だからこそダイレクトにリーダーシップを発揮し、スピード感をもって役場を動かすことができる。それは困難な時代にふさわしい、小さい町だからこそできる改革だ。

町長の給与等の特例に関する条例の改正

町長の給与の20%引き下げを延長し、58万6400円とする。

賛成全員 可決

職員の給与に関する条例の改正

労働基準法の趣旨に基づき「時間外勤務手当の計算方法を改めることに伴い」、本条例を整備する。

賛成全員 可決

越生町災害派遣手当等の支給に関する条例の改正

新型インフルエンザ等対策特別措置法の制定に伴い改正する。

賛成全員 可決

議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の改正

「障害者自立支援法」を「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律」に改めることによる条文を改正する。

賛成全員 可決

越生町重度心身障害者医療費支給に関する条例の改正

関係法律の公布に伴い、本条例を改正する。

賛成全員 可決

越生町新型インフルエンザ等対策本部条例

平成24年に「新型インフルエンザ等対策特別措置法」により「緊急事態宣言」が発せられたとき、町に設置される対策本部に関し、必要な事項を定める。

賛成全員 可決

教育委員会委員の任命

教育委員会委員新井雄啓氏の任期が、平成27年9月30日で満了のところ、平成24年11月20日付で辞職したことに伴い、後任に、

吉澤 勝氏（60歳小杉）

を任命することに同意をもつめる。

（神邊光治議員退席）

賛成全員 同意

教育委員会委員吉澤操氏が平成25年3月31日付で辞職することに伴い、後任に

浅見 登氏（64歳小杉）

を任命することに同意を求め

（神邊光治議員退席）

賛成全員 同意



# 40億300万円 前年比2.6%増

(単位：千円)

歳入				
款	平成25年度	平成24年度	比較	
1 町税	1,304,125	1,340,030	△35,905	
2 譲与税等	219,102	216,102	3,000	
3 地方交付税	1,070,000	1,030,000	40,000	
4 負担金	42,221	45,452	△3,231	
5 使用料	48,073	50,278	△2,205	
6 国庫支出金	269,135	280,795	△11,660	
7 県支出金	248,085	219,031	29,054	
8 財産収入	8,335	134,030	△125,695	
9 繰入金	188,458	133,420	55,038	
10 繰越金	150,000	150,000	0	
11 町債	374,496	256,500	117,996	
12 その他	80,970	44,362	36,608	
13 合計	4,003,000	3,900,000	103,000	

平成25年度越生町  
一般会計予算

予算総額を、歳入・歳出ともに40億300万円とするもので、前年度比2.6%増額となりました。

賛成多数 可決

## 歳入の概要

◆ 国・県支出金は、道路橋梁費補助金、ふるさと創造資金、里山・平地林再生事業補助金、震災対策農業水利施設整備事業補助金等が増額です。

◆ 繰入金は、公共施設整備基金繰入金（中学校プール改築）が増額です。

◆ 町債は、越生駅バリアフリー施設整備事業134,496千円と、臨時財政対策債240,000千円を合わせ374,496千円を起債し、増額となりました。



越生中学校のプール

### 反対討論

選挙結果を見据え

町政の舵取りを

神邊 光治

新井町長の施政方針で、町民の声を聴くことから政策をスタートすると言ったが、敬老祝金廃止条例の提案は公約違反で否決になった。選挙結果は圧倒的勝利ではない。約半数は批判票だ。ここを見据えて今後の町政の舵取りをしてほしい。町長のリーダーシップでは、木村正美議員の質問に町長に意見が言えないような課長は任命しませんでしたと語気を強めていました。意見の言えない人が言える雰囲気を作るのが町長の役目です。

### 賛成討論

持続可能な

町づくりへの一歩

水沢 務

町の持続可能性の実現には、人口減少をくい止めるための制度設計が核心となる。そのためには町の特を生かし、他の自治体との差別化を通じた生き残り戦略をはっきりと意識した施策が必要だ。本予算は町長就任直後という困難な状況で編成されたもの。にもかかわらず、高い教育レベルと自然に囲まれたわが町の特徴をはっきりと打ち出したものになっており、評価できるものだ。

# 平成25年度 一般会計予算

(単位：千円)

## 歳出の概要

- ◆ 越生駅バリアフリー施設整備事業（トイレの改修工事）を行います。
- ◆ 地場産木材利用推進事業・町内木伐採、製材、加工（学校の椅子作り）を行います。
- ◆ 中学校施設整備事業（プール改築工事設計）
- ◆ 町道舗装改修整備事業・主要幹線道路の舗装改修を実施します。（黒山三滝入口、町道1-30号線如意地内、町道2-22号線西和田地内）
- ◆ 河川整備事業（水辺再生駐車場の整備）

歳 出				
款		平成25年度	平成24年度	比 較
1	議 会 費	79,214	80,104	△890
2	総 務 費	824,753	706,455	118,298
3	民 生 費	1,223,756	1,230,266	△6,510
4	衛 生 費	394,675	364,574	30,101
5	労 働 費	10,140	12,511	△2,371
6	農林水産業費	129,482	127,795	1,687
7	商 工 費	65,281	65,885	△604
8	土 木 費	362,080	366,529	△4,449
9	消 防 費	251,384	249,667	1,717
10	教 育 費	401,062	320,451	80,611
11	災 害 復 旧 費	8	8	0
12	公 債 費	256,153	248,743	7,410
13	諸 支 出 金	12	122,012	△122,000
14	予 備 費	5,000	5,000	0
15	合 計	4,003,000	3,900,000	103,000

## 会計別予算一覧

(単位：千円、%)

会 計 名	平成25年度	平成24年度	前年との比較	
			増減額	増減率
一 般 会 計	4,003,000	3,900,000	103,000	2.6
特 別 会 計	2,642,166	2,562,505	79,661	3.1
公 平 委 員 会	620	620	0	0.0
農 業 集 落 排 水 事 業	33,735	39,461	△5,726	△14.5
国 民 健 康 保 険	1,608,500	1,578,700	29,800	1.9
介 護 保 険 事 業	879,700	824,406	55,294	6.7
後 期 高 齢 者 医 療	119,611	119,318	293	0.2
水 道 事 業 会 計				
収 益 的 収 入	278,441	283,747	△5,306	△1.9
収 益 的 支 出	340,205	322,712	17,493	5.4
資 本 的 収 入	2,021	2,023	△2	△0.1
資 本 的 支 出	120,470	150,486	△30,016	△19.9

# 一括法・関連の条例整備

「地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律」（いわゆる地域主権改革一括法）に関する条例の制定及び改正をおこないました。

越生町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例

賛成全員 可決

越生町営住宅管理条例の改正

賛成全員 可決

越生町が管理する町道の構造等の基準を定める条例

賛成全員 可決

越生町都市公園条例の改正

賛成全員 可決

越生町準用河川管理施設等の構造の技術的基準を定める条例

賛成全員 可決

越生町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例

賛成全員 可決

越生町水道事業布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例

賛成全員 可決

# 平成25年度特別会計等予算

越生町、毛呂山町外4組合公平委員会特別会計予算

歳入歳出それぞれの総額を620千円と定める。

賛成全員 可決

越生町農業集落排水事業特別会計予算

総額を33、735千円と定める。

(前年比5、726千円の減額)

賛成全員 可決

越生町国民健康保険特別会計予算

総額を1、608、500千円と定める。

(前年比29、800千円の増額)療養給付費負担金が増額となっている。

賛成多数 可決

越生町介護保険事業特別会計予算

総額を879、700千円と定める。

(前年比55、294千円の増額)

高齢化に伴い、介護サービスに要する費用の増加が見込まれるため増額。

介護支援事業として介護予防教室等の実施を通して、介護予防の重要性、意識の向上を図るための費用を増額。

賛成多数 可決

越生町後期高齢者医療特別会計予算

総額を119、611千円と定める。

(前年比293千円の増額)

賛成多数 可決

企業会計  
越生町水道事業会計予算

収益的収支では、水道事業収益278、441千円、水道事業費用340、205千円で、61、764千円の赤字予算となりました。

資本的収支では、資本的収入2、021千円、資本的支出120、470千円とし、不足額の118、449千円は過年度損益勘定留保資金で補てんします。

資本的支出

- ◆ 黒山中区配水場電動弁等更新工事
- ◆ 堂山地内石綿管更新工事
- ◆ 成瀬・古池地内石綿管更新工事
- ◆ 上谷地内老朽管更新工事など

賛成多数 可決

# 平成24年度一般会計補正予算

平成24年度越生町一般会計補正予算  
(第5号)

既定の予算に、56、157千円を追加し、総額を4、044、159千円とする。  
補正の主なものは次のとおりです。

(△は減額、無印は増額)

## 歳入

負担金 △2、704千円  
国庫支出金

県支出金 17、925千円  
4、232千円

財産収入 295千円  
繰入金 △23、091千円

諸収入 29、500千円  
町債 30、000千円

## 歳出

総務費 △11、321千円

庁舎整備事業費、備品購入費等の落札差額の減額(ノートパソコン20台)によるもの。  
民生費 △26、298千円

後期高齢者医療事業、子ども手当支給事業の減額によるもの。

衛生費 △13、570千円

健康診査事業、予防接種事業、合併処理浄化槽設置促進事業、坂戸地区衛生組合負担金の減額によるもの。

農林水産業費 383千円

商工費 493千円

土木費 1、862千円

道路新設改良費、街路灯・防犯灯管理費等の増額によるもの。

教育費 60、469千円

小中学校給食費減額、及び

越生中学校太陽光発電等導入事業の増額によるもの。  
平成24年度の国事業を活用(国) 学校施設環境改善交付金32、000千円、(地) 平成24年度補正予算債30、000千円

繰越明許費

教育費の中学校太陽光発電等導入事業(64、000千円)が繰越明許費となり平成25年度に繰り越されます。

賛成全員 可決

## 庁舎整備事業

- 北側庁舎空調改修工事  
役場北庁舎エアコン取り替え工事、2F会議室外側設置の室外機の取り替え、地下和室の壁掛けエアコン取り替え工事。  
追加工事
- 駐車場区画線工事  
中央公民館前駐車場の消去及び新設線の上書き工事
- 本庁舎東出入口改修工事



# 平成24年度特別会計補正予算

越生町介護保険事業特別会計補正予算  
(第2号)

既定の予算に、373千円を追加し、総額を848、491千円とするもの。

総務管理費、介護認定審査会費の増額によるもの。

賛成全員 可決

越生町後期高齢者医療特別会計補正予算  
(第1号)

既定の予算に、834千円を追加し、総額を120、152千円とするもの。

歳入では、前年度決算に伴う繰越金。

歳出では、前年度繰越金の一般会計への繰り出し、ほか後期高齢者医療広域連合納付金の減額によるもの。

賛成全員 可決

## 繰越明許費

歳出予算の一部で、その性質上、または予算成立後の事由により、年度内にその支出が終らない見込みがあるものについて、予算で定めることにより、翌年度に繰り越して使用することが認められています。  
この経費を「繰越明許費」といいます。

### 3月定例会で審議した議案の各議員賛否表

○は賛成、●は反対、(退)は退場、(議)は議長

議案 番号	件名	議員氏名											審議 結果
		水澤 努	木村 正美	宮島 サイ子	宮崎 さよ子	吉澤 哲夫	木村 好美	田島 孝文	長島 祥二郎	神邊 光治	浅野 訓正	新井 康之	
1	職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	(議)	可決
2	町長の給与等の特例に関する条例(町長及び副町長の給与等の特例に関する条例の全部改正)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	(議)	可決
3	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	(議)	可決
4	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	●	○	(議)	可決	
5	越生町災害派遣手当等の支給に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	(議)	可決	
6	議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	(議)	可決	
7	越生町敬老祝金等支給条例を廃止する条例	○	●	●	○	●	●	○	○	●	(議)	否決	
8	越生町重度心身障害者医療費支給に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	(議)	可決	
9	越生町営住宅管理条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	(議)	可決	
10	越生町都市公園条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	(議)	可決	
11	越生町に副町長を置かないことを定める条例	○	●	●	○	○	○	○	○	●	(議)	可決	
12	越生町新型インフルエンザ等対策本部条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	(議)	可決	
13	越生町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	(議)	可決	
14	越生町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	(議)	可決	
15	越生町が管理する町道の構造等の基準を定める条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	(議)	可決	
16	越生町準用河川管理施設等の構造の技術的基準を定める条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	(議)	可決	
17	越生町水道事業布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	(議)	可決	



### 3月定例会で審議した議案の各議員賛否表

○は賛成、●は反対、(退)は退場、(議)は議長

議案番号	件名	議員氏名										審議結果
		水澤 努	木村 正美	宮島サイ子	宮崎さよ子	吉澤 哲夫	木村 好美	田島 孝文	長島祥二郎	神邊 光治	浅野 訓正	
18	埼玉県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	(議)	可決
19	埼玉県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の増加及び同組合の規約変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	(議)	可決
20	毛呂山町・越生町・鳩山町障害程度区分判定等審査会の規約変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	(議)	可決
21	平成24年度越生町一般会計補正予算(第5号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	(議)	可決
22	平成24年度越生町介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	(議)	可決
23	平成24年度越生町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	(議)	可決
同意1	越生町教育委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	(退)	○	(議)	可決
24	平成25年度越生町一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	●	○	(議)	可決
25	平成25年度越生町、毛呂山町外4組合公平委員会特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	(議)	可決
26	平成25年度越生町農業集落排水事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	(議)	可決
27	平成25年度越生町国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	●	○	(議)	可決
28	平成25年度越生町介護保険事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	●	○	(議)	可決
29	平成25年度越生町後期高齢者医療費特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	●	○	(議)	可決
30	平成25年度越生町水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	●	○	(議)	可決
同意2	越生町教育委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	(退)	○	(議)	可決

\* 議長は賛否の意思表示をすることができません。採決の結果、可否同数となった場合は議長が裁決権を行使します。

# 町政を 問う！

平成25年第1回定例会の一般質問が3月12日・13日に行われました。

9人の議員が登壇し、町政の課題などについて質問しました。

(記載した問答は、質問した議員が自らまとめて作成したものです)

## ◆質問議員と質問事項◆

### ◎田島孝文 議員

- 1 町の宝である子どもたちの通学路の安全対策、交通事故への対策について
- 2 越生町における社会資本、インフラの経年劣化と修繕事業について
- 3 おごせまつりについて
- 4 世界無名戦士霊廟ならびに大観山山頂周辺の樹木整備について

### ◎木村好美 議員

- 1 教育について
- 2 福祉について
- 3 その他の行政について

### ◎浅野訓正 議員

- 1 職員の採用について
- 2 地域の特徴を生かした地域活性化を

### ◎水沢 努 議員

- 1 越生駅東口開設について町長にお聞きしたい
- 2 35人学級の展望について町長にお聞きしたい
- 3 山村留学制度について町長にお聞きしたい
- 4 ハイキングコースの充実のプランについて町長にお聞きしたい

### ◎吉澤哲夫 議員

- 1 町長の町民に約束したものと

### ◎木村正美 議員

- 1 あれから2年、新地町とのその後は
- 2 越生町森林整備計画の具体的施策はあるのか
- 3 副町長の不任用は妥当なのか

### ◎宮崎さよ子 議員

- 1 国民健康保険の医療費の削減について

### ◎神邊光治 議員

- 1 新井町長の公約実現について
- 2 公平、公正、民主的町政運営について
- 3 すべての要介護認定者に障害者控除を
- 4 就学援助制度の拡充について

### ◎宮島サイ子 議員

- 1 子どもの医療費窓口払い無料化について
- 2 小学校にエアコンを
- 3 食物アレルギーについて
- 4 期日前投票宣誓書について

## 越生町における社会資本、 インフラの経年劣化と修繕事業

田島 孝文



### 問

越生町は中央に越辺川が流れているため、多くの橋があると思うが、完成後40年を超えているのはどの橋で何年たっているのか。またトンネルがあるなら、どこにいつ完成した物があるのか。

### 答

越辺川には、26橋あり町の管理の橋は19橋で歩

道橋が3橋あります。40年を経過した橋は4橋で山吹橋が45年、八幡橋が51年、比丘尼が42年、月ヶ瀬橋が44年経過しています。トンネルは昭和58年に完成した大満地内と平成5年に完成した大谷地内と土木構造物があります。大満地内はトンネルの扱いに

なっているが、土木構造物として管理しています。

### 問

管理及び点検はどのくらいの頻度で行っているのか。その点検結果は。

### 答

一般橋梁の点検、修繕の記録はない。平成21年度から平成24年度において、橋長が15m以上の12橋を対象として調査、点検を行いコンクリートの剥離など確認しています。

### 問

越生まつりの経済効果は。これまで算定したところがあるのか。その額は。

### 答

経済効果は期待できるが、算定した事はない。2日間の来場者数の把握は。また、ここ数年の来場者数を示すデータは。

### 答

昨年は2万人、23年は2万2千人、22年は2万5千人、21年は1万6千人。

### 問

通学路の安全対策、交通事故への対策は。危険箇所において注意を促す看板を設置したり

### 答

P T Aによる通学路点検を行い、点検結果をもとに防護柵の設置や道路標示の書き換え



完成後51年が経過した八幡橋

など順次計画的に改善策を講じています。

### 新町長へ これからの越生町の ビジョンを詳しく聞く

木村 好美



**問** 町長が教育長時代小中学校の空調整備を要望した際、「半袖、短パンで子ども達は頑張っているから必要ない」と言っていたが。

**答** 梅小に設置。翌年、越小を考えている。重要課題だ。

**問** 猛暑でも落ち着いて勉強できる環境整備を早急に願うが。

**答** 「町民の声を聴く」というのが、2学期制アンケートの結果を無視し続けている、まだ、無視するのか。通知表や定期テスト減少で不安に思っている保護者もいるが。

**問** 山村留学の考えもあるが、平成26年夏休みに

**答** 梅園保育園跡地の昆虫館：は町民が「昆虫館が良い」と訴えて出来た建物ではない。老若男女、町民のためになっているのか。地域の声を拾い実態を知るべきだ。

**問** 落ちついており、保護者アンケートでも、2学期制に関する記述がないので公平なアンケートはとらない。公平なアンケートにより、実態調査をし、更なる保護者の理解を深める。開かれた教育行政を。

**答** 町外から大勢来ている。来館者の多くは、近所の小学生。大人の方も、親戚や知人を連れてたびたび来館してくれる。地元の常連から、サポーター的存在が欲しい。



おごせ昆虫と自然の館

### 職員の採用・地域の特性を生かした地域活性化について

浅野 訓正



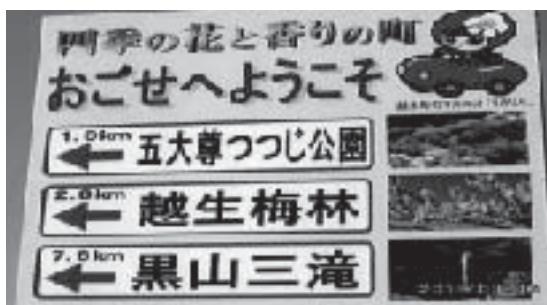
**問** 町を担う若者の職員の採用について問う。(1)職員の採用のスケジュールと基準は。(2)応募者数の人数は、また採用の最終決定は。(3)災害時における対応は十分か。(4)新町長の人件費削減に向けた抱負は

**答** (1)職員の定員管理適正化などを基準に新採用を決定する。(2)応募者数171名。第1次試験受験者数は19名越生居住者8名第2次試験は、第1次試験の成績順から35名を選考、辞退者を除く29名を面接実施8名を採用予定とした。越生居住者は

2次試験の前に1人いたが選考辞退した。(3)越生町防災規定を見直し設備の参集基準を引き上げる。(4)町長の給与賞与の20%削減、副町長を置かないことにより、人件費の削減実施シルバー人材、ボランティアの活用でできる限り人件費の削減に努める。

**問** 町が発展するか衰退するかは、その町の産業は何かにかかっている。(1)産業に乏しい越生町としてはどのように考えているか。(2)観光について、今後どのように考

**答** (1)木工業と建具生産が盛んなこと、梅やゆずが付加価値をつけていくことなど、産業と観光が一体となつたまちづくりを進めてゆく。(2)郷土の誇りとふるさとのPR、越生ならではの歴史や伝統のPRを増進し、地域活性化をはかれるよう関係各課等と連携工夫する。



## エコと教育の ブランド化をめざせ

水澤 努



**問** 東口開設に必要な予算規模は。またその財源はいかにして捻出するのか。その展望はあるのか。

**答** 県補助金の活用や起債、一般財源などで対応。

万一補助金に頼れなくても町の単費で行う。東口開設の推進は町長公約の重要施策と位置

**問** 置つけ早期実現を努力。政府は35人学級実現を断念したが、町独自の

**答** 学級編成が平成24年度から県の認可制から届出制となり、学校長の学校経営

方針にそって実態に即した形で行うことが可能となったので問題ない。平成25年度は、町費で教育活動を補助する非常勤職員を8名採用する予定。フルタイム勤務講師が越小と越中にそれぞれ2名、短時間雇用の学習支援員がそれぞれ2名だ。

**問** 山村留学制度のイメージとプランは。

**答** 梅園小の児童減少に対応するため同学区の地域を中心とした活動を想定。年数名の児童を受け入れる予定

だが、将来的には十名程度にしたい。現在取り組んでいる団体や地方自治体から情報を収集し研究する。

**問** ハイキングコース充実の具体的なプランは。

**答** エコツーリズムやハイキングコースの見直し、ガイドマップの充実など。ま

た指導標やルートコースの整備など必要。

**要望** ハイキングコースやウオーキングコースの充実した町は理想的な住環境といえる。そうした観点からも「ハイキングの町」づくりについて考えていただきたい。



隠岐・島前高校の島留学ポスター

## 町長の

### 町民に約束したものの

吉澤 哲夫



**問** 町民の声を尊重し、政策に反映させるため町政活性化推進室を設営しますと

していますが。(1)具体的にどのような組織にするのか。(2)活動内容は。また、町民の声をどう受け、反映させるのか。

**答** (1)庁舎2階に設置し、新たな課を設置せず、町

行政と町民の皆さまなどとの接点の場として、オープンスペースを設け、提案などの受付は、総務課の自治振興担当者窓口とし、現在、仮称「活力ある越生のまちづくり推進委員会」をつくり、運営したいと考えている。(2)提案の内容により可能なものはすぐに

実行したい。ほか、必要に応じて担当課長の同席が必要となるため、あらかじめ予約をいただくなどし、提案についての対応をしたい。詳細については、至急詰め、4月の開設を目指したいと考えている。

**問**

高齢者の生活支援のため、買い物や通院などの救済を推進しますとしていますが。(1)山間地や町内で安心して暮らせるよう、町民が希望される内容の聞き取りを、全戸に行う考えはないか。(2)町が現在行っている安全安心

対策は。(3)一層の高齢化が進むが、町としての対策と、これからの対応に考えはあるか。

**答** (1)既存制度の中で対応し、現時点で全戸からアンケートをとる考えはない。

(2)見守りネットワークなどで支援を行っている。また、越生町社会福祉協議会の「地域支え合いサービス事業」により、買い物、通院の介助などや、外出支援の助成を行っている。(3)今後、庁内関係課及び、商工会、社会福祉協議会などの関係団体などと調整を



越生町社会福祉協議会の車両

図り具体的な制度設計の協議を進めたい。

### 福島県新地町とのその後は 副町長の不任用は妥当か

木村 正美



**問** 町が復旧支援した福島県新地町との関係は。

**答** 新地町では、依然鉄道の復旧のめどは立たずバスによる代替輸送が続いている。仮設住まいの人たちも本年9月から高台の災害公営住宅に入居するまでに復興。一昨年同様に町の特産物を届け

るなど被災者支援の意向を聞きながら検討。策定中の防災計画に被災者の生の声も反映。町同士の交流は検討課題。

**問** 森林整備計画の実効的施策はあるのか。

**答** 10年を期間として森林法の規定で今年森林整備計画書を策定したが、縦覧者

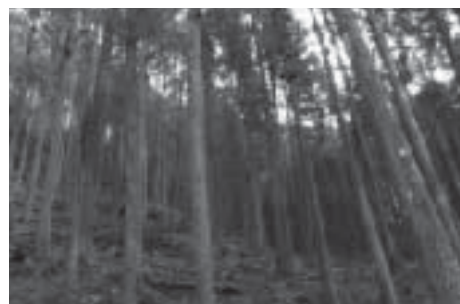
も意見もなし。安い外材に押されて林業は衰退の一途、後継者もなく、山を管理する担い手もない。地場杉を切り出し製材し木工所で特別教室用の椅子200脚製作を全て町内で行う地場産木材利用推進事業を今年度より始め、公共建造物から利用の推進を図っていく。多くの人が苦しむ杉花粉の元凶地でもあり、成木を伐採し広葉樹林の育成の責務もあるが、国レベルの問題と認識。循環型社会形成のための木質バイオマスの積極

的な取り組みの考えはない。

**問** 副町長の不任用は妥当な判断なのか。

**答** 副町長の役割のポイントは2つで、県とのつながりと町職員の掌握にある。県教育局に勤務し、町の教育長も11年やってきたのでそこは自信がある。町長と現場を管理する課長が直接話をすることで事務処理が迅速化される。課長職に新人5名が昇格するが、トップダウンにならぬよう、そう誤解されぬようによく話しあっていく。経費

削減のためにも任期中は副町長を置かずに頑張る覚悟。



越生町の山林

### 予防医学で

### 医療費の削減を

宮崎さよ子



**問** 町の医療費は高齢化や医療の高度化等に伴い年々増加しています。国民健康保険の医療費削減について、町で考えている対策は。

**答** 特定健康診査等の受診率の向上と各種がん検診及び予防検診補助制度により、病気の早期発見、早期治療で

医療費の抑制に努めている。

**問** 予防検診(人間ドック・脳ドック)助成制度の町民への周知は。また、その受診者数と補助額は、近隣の自治体と比較してどうなのか。

**答** 昨年は広報おごせで2月号と5月号の計2回掲載した。今後については広報

おごせと町のホームページで定期的に掲載する。人間ドックの受診者数の平成23年度は、越生町31人、ときがわ町86人、鳩山町138人、三芳町176人、毛呂山町127人。また、平成24年度の越生町の受診者数は、現在49人。越生町の補助額は、2万円。ときがわ町、鳩山町、三芳町の補助額は、2万5千円。

**問** 医療には予防医学と治療医学がありますが、現在注目されているのは予防医学です。町民のために何として

でも平成25年度は予防検診助成制度の見直しが大きな課題ではないか。まず、①人間ドック・脳ドックの受診については、町指定の医療機関を設けて窓口精算(自己負担のみ支払う)方式にすれば、役場の職員の事務の効率化にもなると思うが、検討はしているのか。②補助額は近隣の自治体と同額の2万5千円に引き上げるべきではないか。

**答** ①町指定医療機関を設けて、窓口精算を検討していく。②人間ドックの補助

額は2万5千円が理想なので、事務局と相談していく。



越生町保健センター

## 町長選で口汚い言論と文書は町民に不快感を与えた

神邊 光治



**問** 1 新井町長の公約実現で、①越生駅東口の開設。②梅園・越生小学校のエアコンの設置。③子ども医療費支給事業の窓口払いをなくす。④シルバー人材の活用。⑤町民の公共施設利用料の無料化。⑥ハイキングの町宣言。⑦地域経済・産業振興。⑧町

長の給与・賞与20%カット。⑨副町長を置かない。⑩越生中プールの改修。⑪35人以下学級の実現。⑫梅園小の存続と山村留学制度。

2 公平で民主的な町政運営について、選挙戦は今までにない文書宣伝で、中には品性を欠き、表現は適切でない

が、町民をバカにしたように受け止められる文書もあって大変不評だった。公的機関等の組織的支援も不適切だ。

**答** 1 ①J R等との協議が整い、町との調整がまとまってきたが、早期実現を。

②梅小は平成25年設計26年設置。越小は梅小で整備が完了後に整備。③早ければ平成25年7月から運用。④正規職員以外でも可能な職務に配置を。⑤登録団体は4月から原則無料。⑥町そのものがまるごと自然・歴史博物館としてP R

したい。⑦優良な西川材、梅、ゆず等の加工・販売その他の振興に努める。⑧⑨は実現。⑩は現在100人が今後60人程度と予想される。指定校変更、山村留学制度で活性化を目指す。

2 選挙結果等に異議申し立ては一切なかった。

**再質問** 町民は不満を腹に納めている。口汚い言論と文書は町民に不快感を与えた。公的機関の利用も問題だ。

**問** 就学援助で通学費、体



越生町の建具

**答** 育実技用具、生徒会費、P T A会費は国の補助対象だ。財政と研究を重ねる。

## 期日前投票を簡単に 自宅で宣誓書の記入を

宮島 サイ子



**問** 期日前投票所での越生町の取り組みは。宣誓書様式をダウンロードしたり、投票入場券の裏に、宣誓書を印刷することは可能か。

**答** 選挙システムについては、現在、県の町村会で共同化事業が進められており、その前に単独で費用をかけて

変更することは難しい。ホームページからの宣誓書様式のダウンロードは、次の選挙から実施できるように検討を進めていく。

**問** 越生町にはアレルギー疾患のある子どもはどの程度存在するのか。子どものアレルギー情報とその対応を

学校や保育所の職員等関係者全員が共有しているか。小児アレルギー専門医による研修会を実施してはどうか。

**答** 学校給食の除去食に対応している児童生徒は5名いる。毎月の職員会議において当該児童生徒の状況及び給食時の対応について周知している。例年、県教育委員会が主催する研修会へ教職員が参加し、当該教職員が校内で伝達する方法をとっている。

**問** 小学校の各教室にエアコンを取り付けることに

どんな問題があったのか。エアコン設置への考えを伺う

**答** 平成23年度以降空調設備整備計画は折からの財政難により実施は困難であった。平成26年度以降には設置できるよう計画している。

**問** 子ども医療費窓口払い無料化に向けての意欲を伺う。以前、実施された場合患者数の増大を招くことも考えられると危惧されたが。現在近隣市町村は全て実施しており、越生町だけが取り残された格好になっているが。

**答** 7月の実施に向け関係機関と調整を図っていく。

項目	内容
1. 概要	越生町の宣誓書様式について
2. 詳細	宣誓書の記入方法、印刷方法、ダウンロード方法
3. 問い合わせ先	選挙管理委員会
4. その他	選挙に関するお問い合わせ先

越生町の宣誓書

# 「里山・平地林再生事業」視察

平成25年度第1回議会全員協議会が、5月7日（火）に行われ、その閉会后に、彩の国みどりの基金活用事業「里山・平地林再生事業」の視察をおこないました。



◇この事業の趣旨は、手入れの行き届かない里山・平地林の整備を行い、身近な緑の再生を図ることを目的としています。

◇仕組みとしては、自動車税の一部と寄付金を財源に積み立てられた「彩の国みどりの基金」を活用し、県が造園業者等に発注して、手入れが行き届かない里山・平地林の竹やササの刈払い、灌木や枯損木の伐採、PR看板の設置等をおこないます。なお、事業実施後の森林が森林として適切に管理されるよう、原則として県・市町・森林所有者及び森林ボランティア団体の4者で5年間の協定を締結しています。



大谷区内に設置された看板

## 表彰

3月1日（金）県民健康センターにおいて、表彰式が行われました。

埼玉県町村議会議長会より長島祥二郎氏が同会役員退職にあたり、感謝状を贈呈されました。



長島祥二郎氏

## 人事異動

異動 農業委員会

大澤 展男氏

（前議会事務局）

新任 議会事務局

福田 実氏

（前農業委員会）

## 3月定例会の傍聴者数

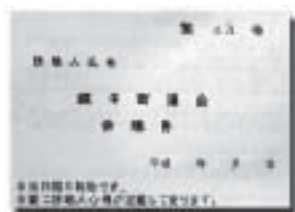
本会議	傍聴人数
3月 7日(木)	3
8日(金)	0
11日(月)	0
12日(火)	18
13日(水)	17
14日(木)	1
25日(月)	0
合計	39

# 議会を傍聴してみませんか

町議会には、年4回（3月、6月、9月、12月）開かれる定例会と、必要があるときに開かれる臨時会があります。そして、そのどちらも一般公開され、傍聴することができます。

あなたが選んだ議会議員が、議会でのような活動をしているのか直接見たり、聞いていたりすることができ、町の動きを直接知ることができます。

どうぞお気軽に議場を訪れ、議会を傍聴してみたいかがでしょうか。



議会傍聴券

「顔の見えるまちおごせ」 ② 春日神社・宮司

# 人生は学びの連続 石井 嘉久氏

シリーズ第2回目は越生十  
六郷の総鎮守・春日神社の宮  
司さん、石井嘉久氏にお聞き  
しました。

こちらは今でも変わらず、そこか  
ら日本国憲法の問題点をもう  
一度見直してみようと。

・大学院での研究結果は

指導教官と意見が合わず、

「**常若の思想で生きる**」  
とこわか  
・勉強家だとお聞きしますが  
実はこの春、國學院大學の  
大学院で法学の修士課程が修  
了しました。でも勉強家とい  
うわけじゃなくて、思うところ  
があつて大学院で研究する  
ことにしたんです。

・思うところと言いますと

私はかつて武蔵一宮の氷川  
神社に勤めていたころ、周り  
に推されて第十代埼玉県神道  
青年会の会長になりました。  
それで北方領土返還運動を行  
い、日本国家の大切さと天皇  
陛下のありがたさをしみじみ  
と感じたんです。宮司につく  
とは地域の人々のためだけに  
なく、国体（天皇を中心とし  
た秩序）のために尽くすこと  
だと思えました。その気持

それこそ苦勞の毎日でした。  
その年齢ですごいですね

神道には「常若」という思

想があります。物理的な年な  
んてのは、地球が太陽の周り  
を一周するだけのこと。精神  
の年齢はまた別ものと考えれ  
ばいいのです。

龍笛一管で雅楽を奏でる



石井宮司と愛犬コタロウ

## 表紙の説明

みどり幼稚園入園式の受付  
の様子です。

本年は、園児数55名でスタ  
ート、みどり幼稚園の目標は、  
『元気でなかよく』子どもた  
ちの成長を楽しみにしていま  
す。

(浅野 訓正・記)



## 編集後記

新町長就任直後の今議会は、  
予算や町長公約に当たるもの  
を含め、多くの議案を審議し  
ました。その中で特筆したい  
のが「越生町敬老祝金等支給  
条例を廃止する条例」で質疑  
討論の後、採決が可否同数と  
なり、議長裁決で否決された  
ことです。町長も議会議員も  
その職責の違いはあれ、直接  
町民から選ばれています。議  
員は議案について町民を代表  
して質疑を行い、討論で考え  
を述べて、是々非々の判断を  
し、表決しています。町政を  
監視しながら時に推進し、あ  
る時は苦言を呈します。今回  
はこうした二元代表制を体现  
する議会となりました。私た  
ち議員もより研鑽を積み、議  
会活性化に努力する所存です。

(木村 正美・記)

- 委員長 吉澤 哲夫
- 委員 新井 康之
- 浅野 訓正
- 宮崎さよ子
- 宮島サイ子
- 木村 正美
- 水澤 努